

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成31年1月31日(2019.1.31)

【公開番号】特開2017-127602(P2017-127602A)
 【公開日】平成29年7月27日(2017.7.27)
 【年通号数】公開・登録公報2017-028
 【出願番号】特願2016-11144(P2016-11144)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月6日(2018.12.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数コマの図柄を可変表示させる複数の可変表示要素を有し、

遊技媒体の投入下における可変表示開始操作に基づいて、内部抽せん用の乱数値を抽出し、予め定義した複数の当せんエリアに対する抽出した前記乱数値の属否により当せんエリアに含まれる役の当否を決定する内部抽せん手段と、

前記可変表示要素の可変表示を、対応する停止操作に基づいて、所定時間内で、且つ、遊技媒体を獲得できる入賞を容易にするための特別の装置で作動図柄の組合せが表示されるまで当せんの権利が持ち越されるボーナスよりも、ボーナスではない非ボーナスに係る図柄の組合せを優先表示させる条件下で各停止させ、所定の有効ラインに前記内部抽せん手段により当せんと決定した当せんエリアに含まれる役に対応した図柄の組合せの表示を許容させる可変表示制御手段とを含む遊技機において、

前記当せんエリアには、停止操作のタイミング如何により取りこぼして本来獲得できる遊技媒体を獲得できない非ボーナスに係る取りこぼし役の当せんを確定させるが、ボーナスとの重複当せんを確定させない第 1 特定当せんエリアと、前記取りこぼし役とボーナスとの重複当せんを確定させる第 2 特定当せんエリアとを含み、

前記第 2 特定当せんエリアには、前記取りこぼし役を取りこぼした場合に有効ラインに表示可能な図柄の組合せを有し、且つ、ボーナスの当せんを示唆させる特定役を重複当せんさせ、

前記第 1 特定当せんエリアには、前記特定役を重複当せんさせない仕様になっていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記ボーナスは、遊技者に付与する利益に予め定めた相対的な優劣を付けた優側の第 1 ボーナスと劣側の第 2 ボーナスとの異種類を含み、

前記特定役は、図柄の組合せが異なる複数の役を含み、

前記第 2 特定当せんエリアは、当せん遊技では前記第 1 ボーナスか前記第 2 ボーナスかの種類を問わないボーナスと重複当せんとなる種類不問ボーナス当確エリアと、当せん遊技では前記第 1 ボーナスか前記第 2 ボーナスかの種類を特定したボーナスと重複当せんとなる種類特定ボーナス当確エリアとを含み、

前記種類不問ボーナス当せんエリアと前記種類特定ボーナス当せんエリアとで、重複当せんさせる前記特定役の内訳を異なる仕様にしている請求項１記載の遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

図面の符号を括弧内に付記して例示する。

複数コマの図柄を可変表示させる複数の可変表示要素（左リール１Ｌ，中リール１Ｃ，右リール１Ｒ）を有し、

遊技媒体の投入下における可変表示開始操作に基づいて、内部抽せん用の乱数値を抽出し、予め定義した複数の当せんエリアに対する抽出した前記乱数値の属否により当せんエリアに含まれる役の当否を決定する内部抽せん手段（Ｋ）と、

前記可変表示要素の可変表示を、対応する停止操作に基づいて、所定時間内で、且つ、遊技媒体を獲得できる入賞を容易にするための特別の装置で作動図柄の組合せが表示されるまで当せんの権利が持ち越されるボーナスよりも、ボーナスではない非ボーナスに係る図柄の組合せを優先表示させる条件下で各停止させ、所定の有効ラインに前記内部抽せん手段により当せんと決定した当せんエリアに含まれる役に対応した図柄の組合せの表示を許容させる可変表示制御手段（リール制御手段Ｖ）とを含む遊技機を前提とする。

「可変表示要素」は、リール、ベルト、画像を含む。「遊技媒体」は、遊技メダル、遊技球、貯留装置の電磁的記録を含む。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

以上の遊技機において、

前記当せんエリアには、停止操作のタイミング如何により取りこぼして本来獲得できる遊技媒体を獲得できない非ボーナスに係る取りこぼし役（ＮＭＬ３）の当せんを確定させるが、ボーナスとの重複当せんを確定させない第１特定当せんエリア（当せんエリア「チェリー」）と、前記取りこぼし役（ＮＭＬ３）とボーナスとの重複当せんを確定させる第２特定当せんエリア（当せんエリア「確定チェリー」、「中段チェリー」）とを含み、

前記第２特定当せんエリアには、前記取りこぼし役を取りこぼした場合に有効ラインに表示可能な図柄の組合せを有し、且つ、ボーナスの当せんを示唆させる特定役（ＮＭＬ６）を重複当せんさせ、

前記第１特定当せんエリアには、前記特定役（ＮＭＬ６）を重複当せんさせない仕様にしている。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

これにより、第１特定当せんエリアに当せんした場合と、第２特定当せんエリアに当せんした場合とで、当せん役の内訳が異なることとなるため、停止操作を経て表示させる図柄の表示パターンを異なるものにでき、ボーナスの当せんに対する信頼度の違いを遊技者に適切に示唆させることができる。これと共に、取りこぼし役を取りこぼした場合、「特定役の表示＝（イコール）ボーナスの当せん確定」の図式を崩すことがないほどにボナ

スの当せんを強く示唆させることが可能になり、ボーナスの当せんをほぼ確定的に遊技者に知らせることもでき、次遊技以降、ボーナスに係る図柄の組合せを表示させるのに適した停止操作を促し得る。よって、遊技の全般を通じて、ボーナスの当せんに対する期待感を適切に煽ることができると共に、ボーナスに当せんしたときには、手持ちの遊技媒体の減りを少なくできながら早期にボーナスを作動させることができ、遊技興趣を向上できる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

以上のもので、

前記ボーナスは、遊技者に付与する利益に予め定めた相対的な優劣を付けた優側の第1ボーナス(RBB1, RBB2)と劣側の第2ボーナス(CBB)との異種類を含み、

前記特定役は、図柄の組合せが異なる複数の役(NML6, NML7)を含み、

前記第2特定当せんエリアは、当せん遊技では前記第1ボーナスか前記第2ボーナスかの種類を問わないボーナスと重複当せんとなる種類不問ボーナス当確エリア(「RBB1 + 確定チェリー」、「RBB2 + 確定チェリー」、「CBB + 確定チェリー」と、当せん遊技では前記第1ボーナスか前記第2ボーナスかの種類を特定したボーナス(第1ボーナス)と重複当せんとなる種類特定ボーナス当確エリア(「RBB1 + 中段チェリー」、「RBB2 + 中段チェリー」と)を含み、

前記種類不問ボーナス当確エリアと前記種類特定ボーナス当確エリアとで、重複当せんさせる前記特定役の内訳を異なる仕様にしている(「確定チェリー」ではNML6、「中段チェリー」ではNML6 + NML7)。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

「遊技者に付与する利益に予め定めた相対的な優劣を付けた」とは、ボーナスの作動を契機に遊技者利益が付与される有利な遊技期間において、投入遊技媒体数に対する獲得遊技媒体数の比率が相対的に高い仕様(優側)と相対的に低い仕様(劣側)を設けたこと、或は、ボーナス作動中の総獲得遊技媒体数から総投入遊技媒体数を引いた純増数が多い仕様(優側)と少ない仕様(劣側)を設けたこと、或は、ボーナス作動中の純増数は少ないがボーナス作動終了後に移行させる再遊技高確率状態での再遊技確率及び/又は継続ゲーム数がボーナス作動中の純増数の少なさを補うのに十分なより大きい仕様(優側)とボーナス作動中の純増数が多いが再遊技高確率状態での再遊技確率及び/又は継続ゲーム数がボーナス作動中の純増数の多さを消し去ってしまう程の値に止まる仕様(劣側)とを設けたこと、或は、ボーナス作動中の純増数は少ないがボーナス作動終了後に移行させる停止操作をナビするアシストタイムの継続ゲーム数等がボーナス作動中の純増数の少なさを補うのに十分なより大きい仕様(優側)とボーナス作動中の純増数が多いがアシストタイムの継続ゲーム数等が純増数の多さを消し去ってしまう程の値に止まる仕様(劣側)とを設けたこと等を意味する。なお、投入遊技媒体数に対する獲得遊技媒体数の比率や純増数の違いは、総獲得遊技枚数の相違や、ボーナス作動継続遊技数の相違の他、規定数の相違、即作動の役物連続作動装置かシフト付きの役物連続作動装置かの相違、規定数の相違による小役配当の相違、小役当せん確率の相違、ボーナス作動中の増加役の有無等でも実現可能である。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

これにより、ボーナスの当せんが確定する第2特定当せんに当せんした場合、種類不問ボーナス当確エリアに当せんしたときと、種類特定ボーナス当確エリアに当せんしたときとで、当せん役の内訳が異なるため、停止操作を経て表示させる図柄の表示パターンを異なるものにでき、遊技者に付与する利益に予め定めた相対的な優劣を付けた異種類のボーナスのうち、どの種類のボーナスに当せんしたかを絞り込むこともでき、遊技興趣をさらに向上できる。